

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MIS036-P169

会場:コンベンションホール

時間:5月27日 14:15-16:15

平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震による神奈川県央域での被害状況 (速報)

Preliminary report on damage to Central Kanagawa, Japan caused by the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake

根本 泰雄^{1*}, 河尻 清和², 相原 延光³, 藤本節男⁴, 篠原憲一⁵, 柏木巳喜子⁵, ひらつか防災まちづくりの会⁵

Hiroo Nemoto^{1*}, Kiyokazu Kawajiri², Nobumitsu Aihara³, Setsuo Fujimoto⁴, Kenichi Shinohara⁵, Mikiko Kashiwagi⁵, HIRATSUKA-BOUSAI-MACHIDUKURI-NO-KAI⁵

¹桜美林大学自然科学系, ²相模原市立博物館, ³神奈川県立新羽高等学校, ⁴秦野市くずはの家, ⁵ひらつか防災まちづくりの会
¹J.F.Oberlin University, ²Sagamihara City Museum, ³Nippa Upper Secondary School, ⁴Hadano City Kuzuhanoie, ⁵HIRATSUKA-BOUSAI-MACHIDUKURI-NO-KAI

本発表の目的は、神奈川県央域にて平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震により引き起こされた被害の原因に関する速報を行うことである。神奈川県は東京都の南西に隣接し、人口は約 900 万人、約 2,415.85 平方キロメートルの面積を有する県である。県内の地形は、沖積低地、台地、丘陵地、丹沢山地に代表される山地から構成されている。

今回の地震では、神奈川県央域までの震央距離は約 400km であり、神奈川県央域から震源断層面までの最短距離は約 150km であった。県内では、今回の地震により震度 2 から震度 5 強の揺れが観測され、死傷者も生じており、死者が 4 名、負傷者は約 130 名であった。液状化現象などによる、家屋、建屋、橋、道路、農業用施設などの被害も報告されており、神奈川県央部だけでも、こうした構造物の被害が 200 以上報告されている。しかしながら、家屋等の被害は神奈川県央部にて均一的に生じている訳ではなく、被害が生じている地域は非常に局所的であった。

なぜ局所的な地域で被害が生じたのか、その原因を明らかにすることは、今後強い揺れに襲われた時の対策を講じる上で重要である。そこで、本講演では、今回の地震により神奈川県央域にて局所的な地域で被害が生じた原因を地質条件や地盤条件と結び付けて考察し、あわせて、その理由を明らかにするために残されている研究課題について報告する。

キーワード: 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震, 神奈川県, 県央, 被害, 地形, 都市地盤

Keywords: the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake, Kanagawa Prefecture, Central Kanagawa Prefecture, damage, topography, urban geosciences